

>>>> JICA青年研修事業によるバングラデシュ研修団が来所 <<<<<

10月23日に、JICA青年研修事業による経済行政（産業振興）コースのバングラデシュからの研修団13名が、来所されました。

「アッサラーム アライクム（こんにちは）」のあいさつの後、和やかな雰囲気の中、センターの概況説明や施設見学が行われました。地域資源を活かした技術支援や研究開発について質問や視察の感想を述べられていました。

また、「今回学んだことを自国に戻ってから役立てたい」という感想をいただきました。



記念撮影の様子

>>>> 地域オープンイノベーション普及セミナーの開催 <<<<<

11月17日に、当センターで、平成25年度補正予算事業（経済産業省）で整備した機器の利用活用を促進するための普及セミナーを開催し62名の参加がありました。当センターに導入された「温湿度・振動複合環境試験システム」の見学及び相談会が行われ、質問や意見交換がなされました。また、IMV株式会社から講師をお招きし、「LED照明等の温湿度・振動複合環境試験について」の講演も行われました。



セミナーの様子

>>>> 研究成果普及セミナー in 奄美を開催 <<<<<

11月18日に、当センター奄美分庁舎において、研究成果普及セミナー in 奄美を開催しました。

今回のセミナーは、大島紬に関すること、きび酢に関すること、神奈川県産業技術センターの箱根寄木細工のブランド化支援事例（鹿児島・神奈川県技術交流事業の一環）についての5件の口頭発表と7件のポスターセッションが行われました。

各方面から55名の参加があり、活発な質問や意見交換が行われました。参加者から、「今後のものづくりのヒントとなった」「他県の取り組みや成功例を聞いてよかった」などの感想があり、

当センターの研究内容や研究成果、試作品等に多くの関心が寄せられていました。



セミナーの様子

>>>> 利用者アンケート調査結果の概要 <<<<

工業技術センター（霧島庁舎及び奄美分庁舎）において技術相談などの技術支援を利用された方を対象に、アンケートを実施し、満足度などを調査しました。

- ・調査目的：中期業務計画（平成24～28年度）に基づき、技術支援の利用状況や要望等を調査し、業務改善に役立てる。
- ・調査対象：技術相談・指導，依頼分析・試験，設備利用の支援業務を利用した来所者
- ・調査期間：平成26年6月2日～8月29日
- ・調査方法：担当職員からの直接配付及び利用者の自主記入，窓口での回収
- ・調査票：選択式及び記述式，8項目

その結果，利用者の皆様から79件の回答を頂きました。また，貴重なご意見・ご要望も頂戴いたしました。これを参考に，今後も業務改善に努めて参ります。

アンケート結果の概要は次のとおりです。

1. 回答者について

回答者の業種は，繊維・衣類，金属，電気機械，食品，電子，機械など多岐にわたっており，事業所規模は，90%が中小企業に相当する企業で，45%は20人以下の小規模企業でした。

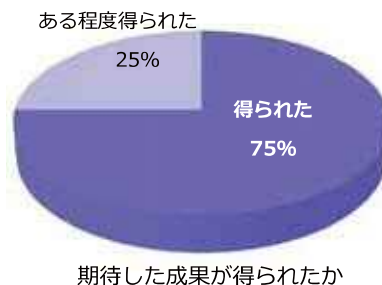
2. 利用項目と利用目的

利用項目は，41%が技術相談・指導，33%が設備利用，26%が依頼分析・試験であり，利用目的は多い順に，「新規開発」「品質検査」「改良・改善」「不具合の原因究明」でした。

3. 成果の評価，経済的価値

期待した成果が得られたかについては，「あまり得られなかった」「得られなかった」とする回答はなく，ある程度以上の成果が得られたと評価されました。

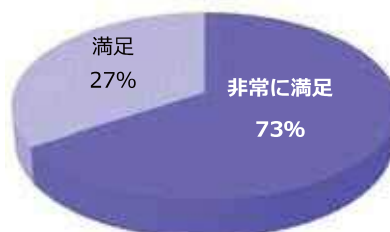
技術支援を利用した経済的価値を尋ねたところ，価値がなかったとする回答はなく，31%の回答に有額の記入（1万円から10億円まで）があり，金銭換算の中央値は，100万円でした。



期待した成果が得られたか

4. 対応の満足度

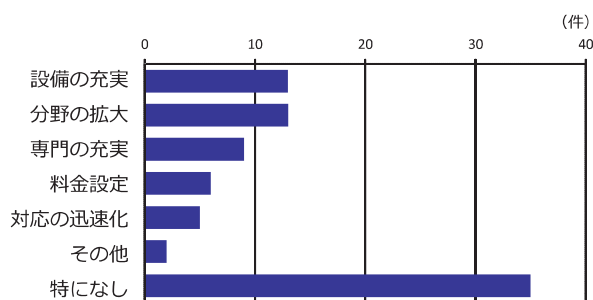
支援時の対応を，接客，支援内容，事務手続き，総合評価の4つの視点について尋ねたところ，事務手続きに「やや不満」とする回答が1件ありましたが，他はすべて「非常に満足」「満足」で，総合評価では73%が「非常に満足」との評価でした。また，今後も再度利用したいかについても，全てが「また利用したい」との回答でした。



センターの対応について

5. 改善，充実すべき点

今後，改善・充実すべき点では50%が「特になし」でしたが，「設備の充実」「分野の拡大」を求める声も多く，自由記入欄でも「設備の充実」や「分野の拡大」についての御意見をいただきました。



改善・充実すべき点